

社会>公民的分野>(3) 私たちと政治>イ 民主政治と政治参加

八尾市に必要なものは？〔八尾市立久宝寺中学校〕

⇒参考：指導略案
ワークシート

ねらい（つきたい力）

- 地域社会の様々な現状や、その中で自分にできることは何なのかを考える。
- まちづくりに関心をもち、進んで地域の活動に参画しようとする。

取組みの概要

① 八尾市に対しての要望を書いてみよう

- ・自分の要望をワークシートに書き、発表する。（例「教室にクーラーをつけてほしい」）
→課題に対して積極的にかかわれるよう、自分の思っていることを素直に書かせたい。

② 八尾市には今、何が必要なのかを考えよう

- ・資料「〇年度〇月定例会市議会の記録から」を見て、自分の要望と照らし合わせてみる。
- ・まず個人で考え、ついで班（4人）で話し合い、班としての意見をまとめて発表する。
→防災関連など、多様な意見があることを知るとともに、自分とのかかわりに気付かせたい。
→自分の要望を簡単に却下せずに、実現させるためにはどうすればよいのか考え話し合わせたい。

③ 財政面から、何を優先させるべきかを考えよう

- ・資料「〇年度当初予算」を参考に、発表した内容について、財政面から何を優先させるべきなのかを班で話し合い、考えた意見を発表し、交流する。
→市民の生活を向上させるにはどうすればよいのかの視点を持ち、考えさせたい。

★発展★ できれば、各意見に対して予算をつけてみよう

工夫など

- 導入時には、教科書の例を使って基本的な学習課題をつかませる。
展開時には、自分の住む市の実例の資料を活用して、課題を自分のこととしてとらえさせる。
- 対話的活動を通して自分の考えや意見を他者に伝えさせる。
個人→少人数（班）→全体（学級）ステップで思考を練り上げていながら多面的に考察させる。

授業を終えて

- 積極的に発表活動を行い、八尾市をより良くしようとする意欲がみられた。
- 自分だけでなく様々な人の意見を聞くことによって、対立や合意など社会的な見方や考え方をはぐくむことができた。